交付金対象事業名		事業目的・概要
子育ても働きがいも！子育て・就労支援の総合応援プロジェクト事業		須坂市では子育てを行いながら、働く意欲のある人が、その知識や能力を生かし、多様な働き方にチャレンジでき、子どもたちを見守りながら就労にチャレンジのできる環境整備に加え、きめ細やかな子育て支援や育児に取り組む世代への支援体制をより充実・強化させ、豊かな気持ちで子育て・就労の両立が叶う、「子育ての心配がなく、安心して働けるまち」を目指している。 これまで進めてきた就労支援と子育て支援の機能を一体的にし、「子育て・就労総合支援拠点」施設の利用拡大・利用者相互の交流を図るとともに、子育て世代が「安心して子育てや相談ができる」場所、「多様な働き方の実現」に向かってチャレンジできる場所、「気兼ねなく語らい交流できる」場所とするための施設として機能させる。 また、「多様な働き方のできる職場」や「子育て世代に優しい職場」に対する企業の理解や取組みをソフト・ハード両面で側面から支援し、地域全体での機運をより高めるための事業を展開する。
総合戦略の位置づけ		
重点戦略3　結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
事業開始	事業終期	
2022年4月	2025年3月	

	要素事業	交付金対象事業費（2023年度実績）単位：千円	主な取組内容
1	子育て・就労支援総合拠点管理運営事業	45,000	子育て就労総合支援センター（Bota）の管理運営、自主事業の開催
2	就業希望者のための業務スキルアップ事業	2,900	業務スキルアップ講座（全8回）の開催
3	働き方改革啓発促進事業（実証実験）	2,900	市内を中心とした企業への啓発セミナー実施、業務切り出しの促進に向けた支援
4	子育て応援企業スタートアップ支援事業	500	市内企業が取り組む働き方改革等に資する職場環境改善や従業員向け啓発事業への支援（補助件数1件）
5	子育て世代相互交流・コミュニティ基盤創出事業	1,950	子育て世代のコミュニティ形成や強化のためのワークショップ開催（9回開催）
6	子育て・就労を応援する地域の魅力アップ情報配信事業	1,450	拠点施設で展開する各種企画等の情報発信、働き方改革に取り組む企業の紹介、子育てや就労に関するコミュニティの活動紹介や事業支援を行うための映像作成・配信等
7	いきいき！職場改善支援金助成事業	6,138	市内事業所の女性等が働きやすい環境とするための取り組み（女性専用トイレや託児スペース等の新設・改修など）に係る経費の一部を支援（補助件数4件）
合計		60,838	

No.	重要業績評価指標（KPI）	事業開始前	単位	基準年度	2022年度増加分	2023年度増加分	2024年度増加分	増加分合計	単位	目標値KPI増加分の累計	単位
1	拠点に関連した子育て世代の就業のべ人数	0	人	2021	2	16		18	人	60	人
					10	20	30	-			
2	子育て・就労総合支援拠点のべ利用者数	20,000	人	2021	53,668	88,063		141,731	件	9,000	人
					2,500	3,000	3,500	-			
3	拠点における外部からの業務受託件数	0	件	2021	0	0		0	人	10	件
					0	5	5	-			
4	子育てしやすい環境づくりに具体的に取り組んだ企業の件数（補助金交付を受けた企業の件数）	0	件	2021	0	4		4	件	15	件
					0	5	10	-			

※KPI実績値の下段は事業実施計画における各年度ごとの目標値

事業効果	地方創生に非常に効果的であった	2023年度における拠点ののべ利用者数は108,063人であり、想定を大幅に上回る利用をいただいており、子育て世代への支援策として非常に効果的であった。 拠点に関連した子育て世代の就業のべ人数は16人であり、本事業で実施しているスキルアップ講座やセミナー、相談会や関係機関との連携等を実施した効果が出てきている。
今後の方針	事業の継続	拠点施設に関しては、引き続きコンテンツを充実させ、さらなる来館者の増加を図る。 また、充実した設備を活用し、就労支援セミナーや就労相談に積極的に取り組むとともに、子育て世代にマッチしたセミナーなどの開発を行い、就労支援を強化していく。 拠点における外部からの業務受託件数については目標値を下回っているが、切り出し業務の実施検討に時間を要しているためであり、引き続き検討を続けていく。
外部評価（コメント）	●子育て支援センターを利用して、受付対応の方が親切で、子どもだけでなく大人にも声かけをしてくれて温かみを感じた。今後もbotaをより良く変化させていってもらいたい。 ●子育て支援の部分で、安心して結婚・子育てできる環境ができるよう、民間との連携等、様々な取組をやってみてほしい。 （※総合戦略の効果検証における関連コメント）	